

委員会から

## 業績賞について

業績賞選定委員会

### 業績賞の賞牌

(天然木 30 × 23cm, 真鍮プレートエッチング)



業績賞は、平成13年度の本会運営に関する検討過程で提案されたもので、個人の研究者を対象とする表彰制度以外に、産業界（生産の現場）で実際に業績を上げた個人やグループを称えることにより、会員の7割近くを占める産業界会員の方々に学会活動により良いかわりを持っていただくために創設されました。

内容は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったもののうちから毎年3件以内を選定し、その貢献者（5名以内、うち代表者は会員に限る）に贈呈するというものです。

選定は、公募により推薦された候補の中から、規程による投票母体に業績賞に相応しいと思われるものの投票を依頼し、得られた結果をもとに、さらに選定委員会で議論の後に決定されます。

すでに、2回の選定が行われ、以下の通り、平成13年度は3件15名の方々が、平成14年度は3件8名の方々が受賞されています。各受賞の詳細は本会Webサイトに掲載されておりますので、会員各位には、ぜひ一度ご参照ください。

本賞は今後も継続して参りますので、会員皆様には上記の趣旨をご理解いただき、毎年10月に本会Webサイトに掲載される募集要項に従って、多くのご推薦をお願いいたします。

受賞者の表彰は通常総会の場で行われ、賞状ならびに賞牌が贈呈されます。特に、賞牌は、創設時に和田会誌編集長によってデザインされたもので、この場をお借りして皆様にご紹介します。

#### ■平成13年度業績賞受賞者紹介（3件15名）

詳細 - <http://www.ipsj.or.jp/gaiyo/gyoseki-s2001.html>

##### 「2次元シンボル「QRコード」を利用した情物一致手段の提供による企業の情報化、効率化」

柴田 彰（デンソーウェーブ）  
高井 弘光（デンソーウェーブ）  
辻本 有伺（デンソーインターナショナルアメリカ）  
河岸 智史（デンソーウェーブ）  
木内潤一郎（デンソーウェーブ）

##### 「Webシステム構築プラットフォーム（WebBASE）の開発と普及」

山本修一郎（NTT）  
川崎 隆二（NTT）  
元田 敏浩（NTT）  
徳丸 浩二（NTT）  
黒川 裕彦（NTT）

##### 「パッケージメディアにおけるコンテンツ保護規格の開発」

田中 哲男（東芝）  
加藤 拓（東芝）  
福島 能久（松下電器）  
館林 誠（松下電器）  
山田 尚志（東芝）

#### ■平成14年度業績賞受賞者紹介（3件8名）

詳細 - <http://www.ipsj.or.jp/gaiyo/gyoseki-s2002.html>

##### 「大規模集積回路網の大域的求解法の開発とその実用化に関する研究」

山村清隆（中央大）  
井上靖秋（早大）

##### 「仮名漢字変換技術の実用化研究と、それを実装した日本語ワードプロセッサの開発」

天野真家（東芝）  
河田 勉（東芝）  
森 健一（東芝テック）

##### 「第3世代携帯電話W-CDMA用国際標準暗号の開発」

松井 充（三菱電機）  
山岸篤弘（三菱電機）  
時田俊雄（三菱電機）

